

アイリスLetter



2014年5月30日発行
第2号
広島女学院中学高等学校

保護者の皆様へ

5月にはいくつかの大きな行事がありました。連休明けの5月10日には、牛田の大学グラウンドで体育大会が行われました。前日の準備の時には風が強くテントが気になりましたが、当日は日差しの明るい良い天気恵まれ、さわやかな新緑の木々に囲まれて開催されました。吹奏楽部のマーチが響く中、青空の下を整然と入場する五色の生徒たちの姿はとて素敵でした。全ての競技と演技、また応援団のパフォーマンスにおいて生徒たちが一生懸命に取り組む姿に、今年も観戦に来てくださった寿老園の皆さんは「元気を頂きました」と大変喜んで帰って行かれました。

1週間後の17日には同様のさわやかな晴天の中で、PTA総会が行われました。2013年度のPTA活動を積極的にリードして下さった香川前会長をはじめとする役員の方々から、福戸山新会長と新役員の方々にバトンが引き継がれ、新年度の活動がスタートしました。大役を果たして下さった旧役員の皆様方には心から感謝申し上げますと共に、新役員の皆様には今年度の役目をどうぞよろしくお願い致します。

そして、24日から28日までは、IAMSCU (International Association of Methodist Schools, Colleges and Universities=メソジスト教会関係学校国際協議会)が広島女学院(中高大)を会場に行われ、世界約30カ国から200名以上の学校の代表・学生の方々が参加しました。

25日の会場となった中高ゲーンズホールには、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカ等から様々な人種・文化圏の方々が一同に集い、日本にいる事を一瞬忘れさせる雰囲気でした。開会式では各国代表がガウンを着て、本校高校生先導の下、厳かに入場。松井一實広島市長、湊晶子広島女学院大学長ほか各国の方々からのスピーチの中、本校の邦楽部生徒のゆかた姿による箏曲合奏「さくら変奏曲」には参加者から大きな反響がありました。また、アメリカのWiley Collegeの合唱団は、わずか10数名ながら繊細な表現とホールいっぱい響くハーモニーで感動を与えてくれました。その後、参加者全員で讃美歌を歌いました。中庭では、茶道部の生徒による御点前、女学院大学生による書道パフォーマンスのもてなしに、皆さん大変喜ばれました。この他、24日の広島市内の案内や、26日の平和公園の碑巡り案内にも多数の高校生がボランティアでリーダー役を務め、女学院生のリーダーシップを発揮してくれました。今回短期間ではありましたが、グローバルな交流の為に、コミュニケーションへの積極的な姿勢、知識、語学力、好奇心、芸術への関心や技術、奉仕精神など、実に総合的な人間力が必要である事を感じました。

今年もまた、海外から多くのゲストが本校を訪れます。掲示板やアナウンスで紹介されることも多いですが、生徒たちにはそれらの機会を活かして、積極的に関わることで収穫を得てほしいと願っています。

聖書の言葉「そこではもはや、ユダヤ人もギリシャ人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、男も女もありません。あなた方は皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。」

ガラテヤの信徒への手紙3章28節(校長)

2014 年度体育大会

5月10日(土)、今年度の体育大会は時折、強い風が吹く中、生徒たちは太陽の陽射しを体いっぱい浴びつつも、とても元気よくグラウンドを駆け回り競技しました。今年も朝の集合から入場行進、そして開会式と、見ていてとても気持ちの良い雰囲気を生徒たちは作り上げてくれました。

競技は中学生の100m走に始まり、「足並みそろえて」や高3の「ムカデ競争」は「イチニ」「イチニ」と大きな声を掛け合いながら競技し、中1の「台風の目」では楽しそうに竹竿を握りしめて走りました。中2の「棒うばい」や中3の「騎馬戦」も白熱し、特に「棒うばい」で、ピストルの合図で前方にある棒に向かっていく姿は、見ている者が圧倒されるような迫力がありました。また、「着せ付け」は競技の早さを競うだけでなく、できあがりの良さも採点に入るので、とても丁寧に仕上がっていたクラスもありました。その後のお披露目では、会場中が笑顔に包まれました。リレー種目は毎年各色対抗意識を燃やし、競技をする者も応援する者も熱が入り、手に汗握る展開を見せてくれました。

最後に、今年の体育大会も体育委員中心に、各係やPTAの皆様のご協力もあり、開始から終了まで無事に終わることができました。感謝いたします。

なお総合優勝は青組、準優勝は赤組、応援合戦では金賞は緑組、銀賞は黄組でした。

(体育科)

高1 進路合宿

4月23日(水)から24日(木)にかけて、高1はグリーンピアせとうちで進路合宿を実施しました。合宿の目的は「進路について考える」です。生徒たちはスタディーサポートの結果を受けとり、自分史を読み返し、保護者からの手紙を読み、先生の話聞き、最後に一人ひとりがクラスメイトの前で自分

の思いを語りました。特に保護者からの手紙を読んだ後は、何か自分が変わるきっかけを作ったようで、雰囲気も一転しました。自分と真剣に向き合い、笑い感動の涙に包まれた2日間、本当に中身の濃い時間を過ごすことができました。

(高1 学年会)

中1 学年合宿

中1学年合宿は、新入生が新しい環境に早く慣れ、6年間の女学院生活の良いスタートを切ることができるよう、入学後間もない時期に実施していますが、今年度は4月24日(木)・25日(金)に行われました。

初日は、比治山にある校母ゲーンズ先生の墓前で祈りの時をもち、先生に入学の報告をした後、グリーンピアせとうちにバスで移動しました。天気にも恵まれ、青空の下、各クラス『同級生インタビュー』を行い、まだ話したことのなかったクラスメイトや先生と交流を深め、友だちや自分を再発見することができました。夜は、同級生インタビューを振り返り、キャンドルサービスによる夕礼拝を持ちました。ローソクの灯りのもと、女学院に入学したことの意味やこれからの歩みについて静かに思いを馳せました。

二日目は、まず「プチ☆校歌・讚美歌コンクール」が行われました。短い練習期間でしたが、どのクラスも個性豊かな表現で一生懸命歌う姿が感動的でした。その後、屋外運動場でクラス対抗長縄大会が行われ、跳ぶ人たちも応援する人たちも白熱し、クラスの一体感がいっそう強まりました。最後の昼食はおいしいバーベキューでお腹いっぱいになりました。

帰る頃には、女学院生らしくなった1年生の皆さんの姿を見ることができました。この経験を生かし、これからの学校生活を充実させてほしいと思います。

(中1 学年主任)



生徒会活動（中学）

新しい学年になり、今年度も各クラスで委員会役員を選出し、新しいメンバーでの生徒会活動が始まりました。各委員会の今年の年間目標を紹介します。

五人委員会 笑顔で明るい学校作り、下級生のお手本を目指します！
来られた方も迎える側も楽しめる文化祭にしましょう！

評議会 Let's say your 意見！！

礼拝委員 「聞く」「書く」「感じる」礼拝に！
～みんなと礼拝の架け橋になる～
隣人のために自分の力を使って働こう！

美化委員会 積極的に学校をきれいに
ピカピカ つるつる テカテカ 女学院

保健委員会 衛生面に気をつけて、1年間楽しくすごそう。

図書委員会 笑顔で利用者に分かりやすく！
活字に触れ、感受性を高めよう！

体育委員会 Powerful Enjoy Present
Enjoy. Let's PE.

選挙管理委員会 選挙をスピーディーでミスなく正確にこなす。

各委員の目標達成に向けて、皆さまの協力をお願いします。

(中学生徒会顧問)

生徒会活動（高校）

新年度が始まり、新たに高1の5人を加え、今年度の生徒会活動が始まりました。アセンブリーや体育大会の応援団など様々な運営を担っています。

今年度のテーマは「FANTASY」です。体育大会の応援団では、このテーマを取り入れ、

各組の色を意識した衣装や華やかな応援が披露されました。中間テスト後からは、文化祭へ向けての準備が始まります。「FANTASY」のテーマを軸に、文化祭を女学院という1冊の絵本にしたいと考えています。文化の香り漂うすてきな文化祭にしましょう。

《4月・5月の主な活動》

・4月8日 評議会にて今年度も体育大会応援団結成が決定

→LHR(4/11)でメンバー選出

・4月14日 ホールアセンブリーで2013年度会計決算

・4月16日 部活動成立願い〆切

・4月17日 応援団会議（応援団メンバー全員へのルール説明）、練習開始

・4月19日 「あしなが学生募金」街頭募金活動30名参加

・5月10日 体育大会 応援団
金賞…緑組、銀賞…黄組

(高校生徒会顧問)

吹奏楽部第27回定期演奏会

中高吹奏楽部は、4月29日（火・祝）にゲンスホールにて第27回定期演奏会を開催致しました。第1部では4曲、アンサンブルステージではホルン3重奏が1曲、第2部ではアンコールを含め6曲演奏しました。第2部では全員オリジナルのオレンジのTシャツを着て登場し、ポップスを中心に演奏しました。最後の曲のJ-POPメドレーでは、高3が選曲・編曲した5曲をメドレーで演奏し、高3が準備したさまざまなパフォーマンスと合わせて、会場は大盛り上がりで幕を閉じることができました。沢山の方に足を運んで頂き、部員一同感謝しております。

この演奏会で高3の7名は部活を引退しました。これまで支えてくださった皆様に感謝申し上げますと共に、これからも吹奏楽部をお支えくださるようお願い申し上げます。

(吹奏楽部顧問)



中高マンドリンクラブ第34回定期演奏会

4月27日(日)にマンドリンクラブでは第34回定期演奏会を催しました。今年の定期演奏会は、昨年度まで35年間指導してこられた松重先生が退職され、新体制となって初めての演奏会でした。

第1部では、昨年秋から練習し、県のマンドリンフェスティバルでも演奏した「英雄行進曲」も含め、3曲。第2部では、高校生10名によるアンサンブル、第3部では「憂愁」、「マンドリン・オーケストラのための組曲」の2曲を演奏しました。難しい曲も多く、大変でしたが、生徒たちは今持っている力を全て出し切って臨みました。

今年も多くのお客様にご来場いただき、部員一同感謝しております。次は7月24、25日の全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールに向けて、精一杯頑張りますので、今後ともご支援の程よろしく願いいたします。

(中高マンドリン部顧問)



NPT 再検討会議第3準備委員会を傍聴して

「平和首長会議」は「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」に賛同する世界158か国約6,000都市が加盟する世界最大級のNGOで、広島市長が会長を務めておられます。

この度、平和首長会議は、6年前に本校で始まった「核廃絶! ヒロシマ・中高生による署名キャンペーン」の活動を高く評価し、これに関わってきた4校より2人ずつ、計8人をニューヨークに派遣しました。4月27日(日)から2週間にわたって国連本部で開催されるNPT(核不拡散条約)再検討会議第3準備委員会に参加する広島市長に帯同して、会議を傍聴し、平和首長会議が主催するユースフォーラムでプレゼンテーションをするのが主な目的です。本校からは高3のH・IさんとK・Kさんが参加しました。なお、参加した8人の高校生は、外務省からユース非核特使にも任命されました。

ニューヨークでは、国連本部の前に掲げている各国の国旗や会議場を目にした瞬間、生徒からは歓声があがりました。それと同時に自分たちが取り組んできたことをきちんと伝えられるかどうか、不安にもなったようで、プログラムの合間を縫ってはプレゼンテーションの練習をしていました。

会議の初日は数カ国の外務大臣がそれぞれの取り組みを報告しましたが、マーシャル諸島での核実験についての遺憾の意と後遺症などの懸念が報告されると、会場から賛同の拍手が沸き起こりました。国連での会議では通常、拍手はしないとのことでしたが、世界が核兵器に対してNO!と言っていることの表れだと痛感しました。その後、今回の高校生派遣団の団長を務めたIさんが、松井市長とともに潘基文事務総長に面会し、集めた署名の目録を提出しました。

初日の夜は日本政府軍縮代表部主催のレセプションに招待され、代表して本校のIさんがあいさつのスピーチをしました。政治家

や外交官が列席するなかでのスピーチは、緊張したようですが、聴衆のみなさんが熱心に耳を傾け、大きな拍手を送って下さいました。

二日目はいよいよ高校生のプレゼンテーションの日です。平和首長会議のサイドイベントとして、4校がそれぞれの取り組みを発表しました。様々な国の市長を始め、メディアの取材も多く入り、会場は座りきれないほどの人でした。4校ともに「核廃絶のための署名活動」を軸に、それぞれの観点からの動機や展望などを述べました。根底は同じものですが、4つの異なるアプローチでのプレゼンテーションということで、終了後はどの首長からも高い評価をいただき、若い世代がいかに期待されているかを、強く感じました。

三日目には国連軍縮部上級代表のアンゲラ・ケインさんにお会いすることができました。この面会は本校の卒業生で国連職員 的 尾 遥 (かたらお はるか) さんの計らいで実現したものです。ケインさんには4月の街頭署名で集めた 2,000 筆とニューヨークで集めた 100 筆を手渡し、本校のKさんが代表であいさつのスピーチをしました。ケインさんは特に現地で集めた 100 筆に驚かれ、生徒たちの行動力に感心し、ここでもやはり「期待している」という言葉を頂きました。

ニューヨークでは現地の学校とも交流をしました。全米でもトップクラスのスタイベサント高校と国連学校の小学部です。高校では想像したこともないような鋭い質問に戸惑いもしましたが、「自分たちも署名に協力したい」と申し出てくれ、活動の広がりを実感しました。小学校では子どもならではの素朴な質問に、これまた戸惑いつつも、原点に戻ることができたような感覚を得ました。

5泊7日の日程はとてもタイトでしたが、十分すぎるほどの充実感と達成感を得た研修でした。これを今後どのように活かすか、またどのようにつなげていくかを考えるの

が大きな課題ですが、思考を止めることなく、次に進める道を整えたいと思います。

(グローバル教育推進部 署名実行委員会)

PTA総会

2014年度のPTA総会が5月17日(土)に行われました。あわせて授業参観も行われたため、早朝から保護者の方々が来校され、ホールの礼拝にも出席しておられました。この日は校長先生のお話でした。

総会は11時から始まり、まず昨年度の事業・決算報告があり、昨年度のバザー収益金によって中学校のシューズロッカーが一新された事も報告されました。続いて新年度の役員選出、事業・予算案が承認されました。その中で、予備費から、SGH関連事業に対して200万円を上限として、これから5年間支出するという提案も承認されました。大切な予算を有効に使い、女学院の教育活動を充実させていく決意を新たにしました。

昨年度役員の皆様、労を惜しまずPTA活動に取り組んでいただき、ありがとうございました。新年度の役員を引き受けてくださった皆様、ご多忙な中をありがとうございます。1年間どうぞよろしく願いいたします。

(中学教頭)

保健室だより (2)

本校では健康診断が続いています。6月5日(木)には、耳鼻科、眼科、歯科検診がありますので、受けるようにしましょう。健康診断は自分の身体のことを見つめなおす良い機会です。日々、健康的な生活を送ることができるよう心がけましょう。

これから、気温や湿度が上がってくると体調を崩しやすくなります。十分な食事と休養をとりましょう。また、体調が悪いときは無理をせずしっかり休み、元気に学校に来ましょう。朝から体調が悪いと保健室に来る人がいますが、家で体温を測ってきていないことがあります。体調が悪いときは体温を測り、自己管理できるようところがけましょう。

(保健室)

M・K (3-2) 組の計5ペアが

個人戦市大会出場権獲得)

心の健康 (2)

6月は梅雨です。この時期は湿度が高く、空気がジメジメします。人の心と身体は天気や天候の影響を受けますので、心もジメジメしがちです。こういう時こそ、家庭で一工夫して心身の健康に気をつけたいものです。

つらいことや悩みがあるときは、いつもより早く寝るといいでしょう。眠れなくても、身体を横にするだけでもいいのです。まずは力を抜きましょう。お部屋にちょっとお花を飾る心のゆとりもほしいですね。



(カウンセラー)

教職員の動向

○5月20日に地歴公民の伊勢崎智恵先生と安宅弘展先生の御家庭に男児が誕生されました。おめでとうございます。祥杜(よしと)くんです。ご成長の上に神様の豊かな祝福をお祈りします。

生徒の活躍

《中学》

◇中学ソフトテニス部

*平成26年度広島市中学校ソフトテニス選手権大会(安芸・中ブロック大会)

【団体】2位(団体戦市大会出場権獲得)

【個人】

2位 K・S (3-1)

N・O (2-4) 組

3位 A・M (3-5)

H・N (3-3) 組

ベスト8 U・S (3-4)

M・N (3-2) 組

ベスト8 H・M (3-3)

N・F (3-3) 組

(以上4ペアに加え、敗者復活戦で勝った

K・K (3-3)

◇中学卓球部

*平成26年度広島市中学校卓球選手権中・南区大会

【団体】

2位 卓球女子団体A

2位 卓球女子団体B



【個人】

2位 H・T (3-5)

3位 M・W (3-1)

《高校》

◇高校新体操部

*平成26年度広島地区高等学校春季新体操大会

【団体】2位 Aチーム

4位 Bチーム

【個人】

個人 2部

1位 H・S (3-C)

2位 S・K (3-C)

個人 2部フープ

1位 H・S (3-C)

2位 S・K (3-C)

個人 2部ボール

1位 H・S (3-C)

2位 S・K (3-C)

◇高校水泳部

*広島地区春季水泳競技大会

個人種目

N・K (1-D) 100m背泳ぎ 8位

※「生徒の活躍」について

この欄は、部活動・同好会の大会・試合結果等を掲載しています。

個人については主催団体より学校に直接報告があったものを中心に、

個人の報告によるものを載せています。報告は担任を通じて書面で

お寄せ下さい。内容検討の上、掲載いたします。

今月の聖句

ヨハネによる福音書 3章 16節

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

NHKの朝の連続ドラマ『花子とアン』のヒロイン、『赤毛のアン』を翻訳した村岡花子は、女学院と同じメソジスト派のキリスト教学校（女学院はアメリカですが、カナダ系の東洋英和女学校）で学びました。女子教育など必要ないとされた時代に、熱心なクリスチャンだった花子の父が、娘の文学的才能を伸ばしてやりたいと考えたからです。

花子も2歳の時に幼児洗礼を受けていましたが、幼い一人息子を失うという悲劇に見舞われ、悲しみのどん底でこの「神は独り子を給うほどに世を愛し給えり」という聖句が心に響きます。「私は子を失って、はじめて子を愛する道を悟りました。自分の愛が、いかに浅はかなものであったということをも自覚したのです。子を愛すると思いつつも、それは自己の野心の満足を求めていた時もあったのを悟りました。7才にして、世を去った道雄は私の内なる母性に火を点じてくれた神の使いでした。一度点じられた火は消えません。高く高く、その炬火をかかげて、世にある人の子たちのために、道を照らすことこそ私の願いです。」

そして、失ったわが子の代わりに、日本中の子どもたちのために、親と子が共に楽しめる作品を翻訳していこうと決心して新しい出発をします。神が独り子を犠牲にして私たちに愛を伝えて下さったように、一人子を失う痛みを通して花子が私たちに残してくれたもの、それが『赤毛のアン』をはじめとする数々の作品だったのです。

(2014.5.26 中学礼拝より 聖書科 T.M)

6月行事予定表

日	曜	
1	日	④県総体
2	月	夏服更衣 教育実習(6月21日(土)まで) 面接週間(40分授業)
3	火	
4	水	
5	木	第2次スクリーニング 13:30~ (午後授業カット)午前1~5限
6	金	
7	土	午後 中2・3漢字検定
8	日	ペンテコステ
9	月	
10	火	
11	水	1~3限 土曜授業
12	木	
13	金	
14	土	高3模試(進研マーク) リーダープレキャン
15	日	
16	月	平和を祈る週
17	火	参観日
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	45分授業 1限8:40~ 平和を祈る週特別礼拝
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	④文化講演会 午後45分授業
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	



体育大会

(5月10日)

